

(第1号様式)

「地球にやさしい青森県推進事業所」登録申請書

平成20年6月7日

青森県知事 三村 申吾 殿

住 所 〒034-0012
十和田市東一番町2-50
氏 名 田中建設株式会社
代表取締役 田中 陽
電話番号 0176-23-3521



青森県「地球にやさしい青森県推進事業所」登録事業実施要綱第3条第1項の規定に基づき、次のとおり申請します。

ふりがな	たなかけんせつかぶしがいしや		
事業所名	田中建設株式会社		
所在地等	〒034-0012 十和田市東一番町2-50		
	TEL: 0176-23-3521	担当者	環境保全事業部
	FAX: 0176-25-7011	職・氏名	部長 吹越 公男
業 種	総合建設業		
取組項目 NO	取 組 内 容		
1-①	印刷用紙は「植林木」を、その他備品はやグリーンマークやエコマーク認定品を採用しています。		
2-③	工事において、環境配慮設計及び工法の提案・推進を実施すると共に、青森県リサイクル製品やその他再生資源の使用にも努めています。		
3-①	冷房28度・暖房20度管理や不要照明の消灯、クールビズ・ウォームビズ運動を実施しています。		
4-②	ごみの分別や発生量の記録・集計を実施し、リサイクルと減量化に努めています。		
5-①	社内資料は裏面印刷・両面印刷を行い、H19年度は2.9%の用紙購入量削減を達成しました。		
7-②	社用車や工事車輛においてアイドリングストップなどの「省エネ運転」を実施し、H19年度は6.6%のCO ₂ 削減を達成しました。		
7-⑦	「ボランティア・サポータープログラム」に定期的に参加し、清掃奉仕活動を実施しています。		
7-⑨	ISO14001取得により、事業活動に伴う環境影響について各部門毎に対策を実施し、達成度を社内で共有しています。		

※「環境に配慮した取組項目」のうち既に取組まれている項目の数字（記載例：1-①、3項目以上）とその取組内容を具体的に記入してください。

※取組みの状況が確認できる写真、資料等を添付してください。

(資料 1)

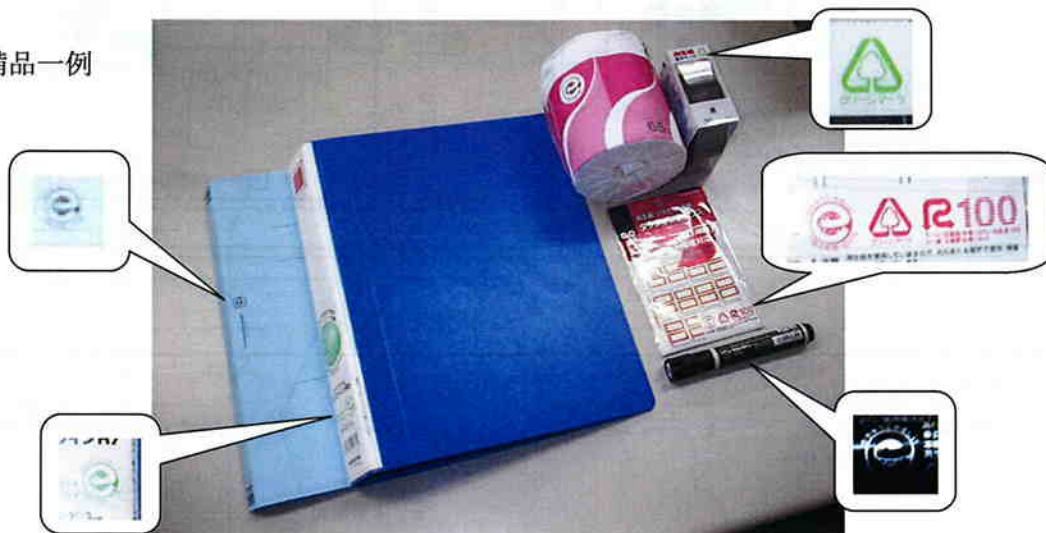
取組項目 NO	取組内容
1 - ①	<p>印刷用紙は「植林木」を、その他備品はやグリーンマークやエコマーク認定品を採用しています。</p> <p>※「植林木」とは、絶滅危惧種の生物が生育する自然林などの木材は使用せず、持続可能な森林経営による資源をパルプ原料として使用した紙のことです。具体的には、遊休牧草地などを耕してつくった「森の畑」にアカシアやユーカリなどを植林し、計画的な植林→保育→伐採→植林を繰り返しながらパルプ原料を調達しています。</p> <p>(http://d.hatena.ne.jp/keyword/%BF%A2%CE%D3%CC%DA より引用)</p>

(取組み状況写真)

印刷用紙



備品一例



(資料2)

取組項目 NO	取組内容
2 - ③	工事において、環境配慮設計及び工法の提案・推進を実施すると共に、青森県リサイクル製品やその他再生資源の使用にも努めています。

(取組み状況写真)



※工事において青森県認定リサイクル製品を使用した場合は、使用した品目などを現場内の見易い場所に掲示し、使用実績を発注者に報告しています。

(資料3)

取組項目 NO	取組内容
3 - ①	冷房 28 度・暖房 20 度管理や不要照明の消灯、クールビズ・ウォームビズ運動を実施しています。

(取組み状況写真)

室温測定



H19 年度
クールビズ
啓蒙ポスター



H19 年度
ウォームビズ
啓蒙ポスター



取組項目 NO	取組内容
4 - ②	ごみの分別や発生量の記録・集計を実施し、リサイクルと減量化に努めています。

(取組み状況写真)

分別状況



発生量
記録状況



収集日にゴミの重量を電子秤で計量し、発生量を記録簿に記入しています。

(資料5)

取組項目 NO	取組内容
5 - ①	社内資料は裏面印刷・両面印刷を行い、H19年度は2.9%の用紙購入量削減を達成しました。

(取組み状況写真)



※ミスプリント紙や裏面が使える印刷物は、サイズごとに回収し社内資料の印刷に利用しています。

取組項目 NO	取組内容
7 - ②	社用車や工事車輛においてアイドリングストップなどの「省エネ運転」を実施し、H19年度は6.6%のCO ₂ 削減を達成しました。

(取組み状況写真)



※省エネ運転についての社内教育の他に、社用車や工事車輛に省エネ運転ステッカーを貼って、運転手の意識向上に努めています。

(資料7)

取組項目 NO	取組内容
7 - ⑦	「ボランティア・サポート・プログラム」に定期的に参加し、清掃奉仕活動を実施しています。

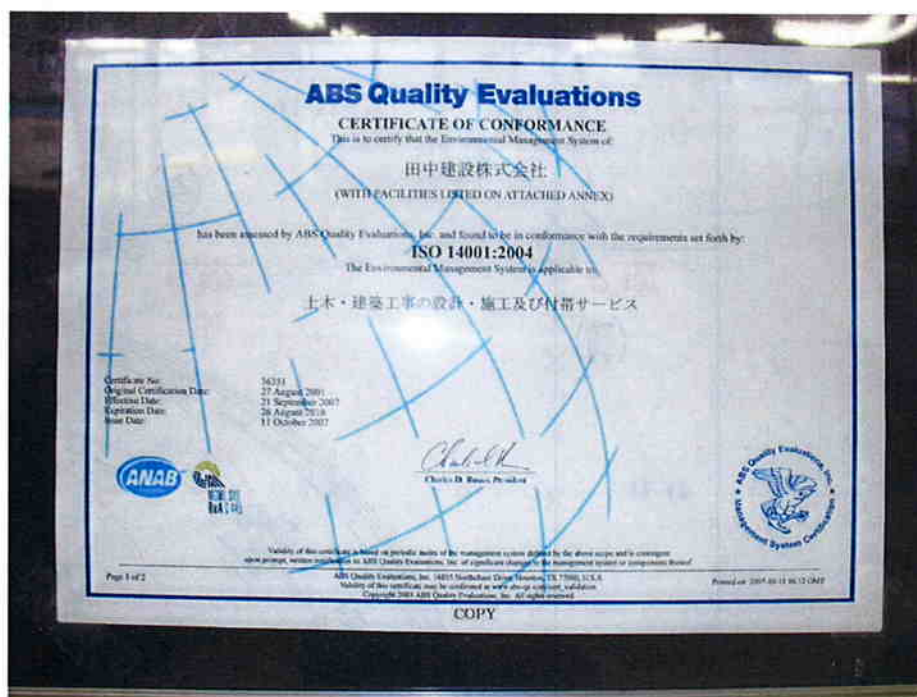
(取組み状況写真)



(資料8)

取組項目 NO	取組内容
7 - ⑨	ISO14001 取得により、事業活動に伴う環境影響について各部門毎に対策を実施し、達成度を社内で共有しています。


(取組み状況写真)



※ 資料9は、平成19年度の環境活動の達成度を示したものです。

※ 資料10は、平成20年度の環境活動方針を展開図に示したものです。

様式番号：#TMSA-04-00	マネジメントシステム実施報告書	保管部門：MS推進室
		保管期間：6年

平成 19 年 10 月 22 日		環境管理責任者
マネジメントシステム実施報告書		吹越 公男 
方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業活動の全ての領域及び段階で建設副産物、CO2、振動・騒音の発生など環境負荷の低減に努める。 2. 環境創造に資する技術開発・工法推進・提案、リサイクル、グリーン購入及び森林資源の保全に努める。 3. 法規制及び当社が同意する環境に関する外部からの要求事項を遵守する。 4. 社内外に広くコミュニケーションを図り、環境方針の公開等必要な情報を開示する。 5. 環境保全及び汚染予防のために環境マネジメントシステムを構築し、その設定された環境目的・目標を定期的に見直すことでその継続的な維持・改善を図る。 	
目標値	実績値	<ol style="list-style-type: none"> 1. CO₂の発生量を2007年9月30日までに2%削減する。 2. 法令遵守の徹底及び建設副産物の発生抑制とリサイクルの促進。 3. 環境配慮設計及び工法の提案・推進 4. 市街地工事において生じる振動・騒音に対する苦情を低減する。 5. 森林資源の保全
		<ol style="list-style-type: none"> 1. 2007年9月30日現在、6.6%減達成 2. 建設副産物の発生抑制及びリサイクルの推進 <ol style="list-style-type: none"> 1) 副産物の発生抑制 土木部 0% 未達成 建築部 45%減 達成 2) リサイクルの促進 財務部 2.0%増 未達成 3. 土木部 マグネ土壌菌、環境配慮植生 6件 未達成 建築部 環境配慮建築 1件 未達成 4. 騒音・振動に関する苦情件数は前年度比-2件(1件) 達成 5. コピー用紙の削減 2.9%減 熱帯材合板型枠の推進 789㎡ 前年度比増 131.5%

H20年度環境方針展開図(環境目的、環境目標の関係)

文書番号: TMSG-M002-00

配布先:



【環境理念】

田中建設は、主たる事業活動である良質の社会資本の提供を通じて、「地域社会から信頼され、必要とされる企業」を構築し、さらには、「地域社会へ貢献する企業」を目指しております。

田中建設は、自らの事業活動が環境に深く関わっていることを認識し、地域環境から地球規模の環境影響を考慮した事業活動に努め、次世代へ継承する環境を地域発展と共に創造します。

【方針】

1. 事業活動のすべての領域及び段階で建設副産物、CO2、振動・騒音の発生など環境負荷の低減に努める。
2. 環境創造に資する技術開発・工法推進・提案、グリーン購入及び森林資源の保全に努める。
3. 法規制及び当社が同意する環境に関する外部からの要求事項を遵守する。
4. 社内外に広くコミュニケーションを図り、環境方針の公開等必要な情報を開示する。
5. 環境保全及び汚染予防のために環境マネジメントシステムを構築し、その設定された環境目的・目標を定期的に見直すことで、その継続的な維持・改善を図る。

著しい環境側面(50点以上のもの)

本社	IN	・電気量	80点
	IN	・コピー用紙	112点
	OUT(廃)	・可燃物	56点
土木	IN	・As乳剤	75点
	IN	・軽油	105点
	OUT(リ)	・As塊	72点
建築	IN	・陶磁器質タイル	60点
	IN	・PHC杭	60点
OUT(廃)	・段ボール	80点	
OUT	・代替フロン	60点	
(20年間)			
建物のユーザー使用			
・ユーザー使用時の側面			

環境目的

1. CO2の発生量を2009年9月30日までに1%削減する。
2. 建設副産物の発生抑制とリサイクルの推進。
3. 環境配慮設計及び工法の推進
4. 市街地工事において生じる振動・騒音に対する苦情を低減する。
5. 森林資源の保全

環境目標

- | | |
|-----|---|
| 財務部 | 本社のCO2発生量を2008年9月30日まで現状維持とする。 |
| 土木部 | 2008年9月30日までに単位当たりCO2排出量を1%削減する。 |
| 建築部 | 施工段階でのCO2排出量を測定し、単位施工面積当たりCO2排出量を2008年9月30日までに、対2007年度比で2%削減する。(削減努力目標) |
| 土木部 | 工法提案により建設副産物量を発生予定量の2%削減する。 |
| 建築部 | 単位施工面積当たり廃棄物量を把握し2008年9月30日までに対2007年度比で廃棄物量を2%削減する。(削減努力目標) |
| 土木部 | マグネライン工法、土壌菌工法、発生残土抑制工法等の工事件数を対前年度比増を達成する。(3件以上) |
| 建築部 | 環境配慮型建築への取組みを推進するため環境を切口とした提案を実施する。総提案件数20件。 |
| 営業部 | 提案書作成(内容助言)、配布先の選定。 |
| 土木部 | 工事に伴う騒音・振動の苦情件数を対前年度比減を達成する。(1件以下) |
| 財務部 | 本社において植林木使用コピー用紙の使用量を2008年9月30日まで現状維持とする |
| 建築部 | 熱帯材合板型枠の代替材料の使用を推進し、2008年9月30日までに700m2以上とする。 |